

平成26年中の交通死亡事故の傾向について

○ 都道府県別死亡事故発生状況

・ 都道府県別交通事故死者数ワースト5位

順位	1位	2位	3位	3位	5位
都道府県	愛知	神奈川	千葉	兵庫	埼玉
人数	204	185	182	182	173

・ 人口10万人当たり交通死亡事故発生ワースト5位

順位	1位	2位	3位	4位	5位	41位
都道府県	佐賀	福井	三重	鳥取	山梨	愛知

(本県の人口数・全国順位 7,443,000人・4位)

・ 免許人口1万人当たり交通死亡事故発生ワースト5位

順位	1位	2位	3位	4位	5位	42位
都道府県	佐賀	福井	三重	鳥取	鹿児島	愛知

(本県の免許人口数・全国順位 5,039,570人・4位)

・ 車両1万台当たり交通死亡事故発生ワースト5位

順位	1位	2位	3位	4位	5位	43位
都道府県	佐賀	福井	鳥取	三重	愛媛	愛知

(本県の車両台数・全国順位 5,514,183台・1位)

・ 道路延長1000km当たり交通死亡事故発生ワースト5位

順位	1位	2位	3位	4位	5位	16位
都道府県	大阪	神奈川	東京	佐賀	滋賀	愛知

(本県の道路実延長・全国順位 50,034.0km・3位)

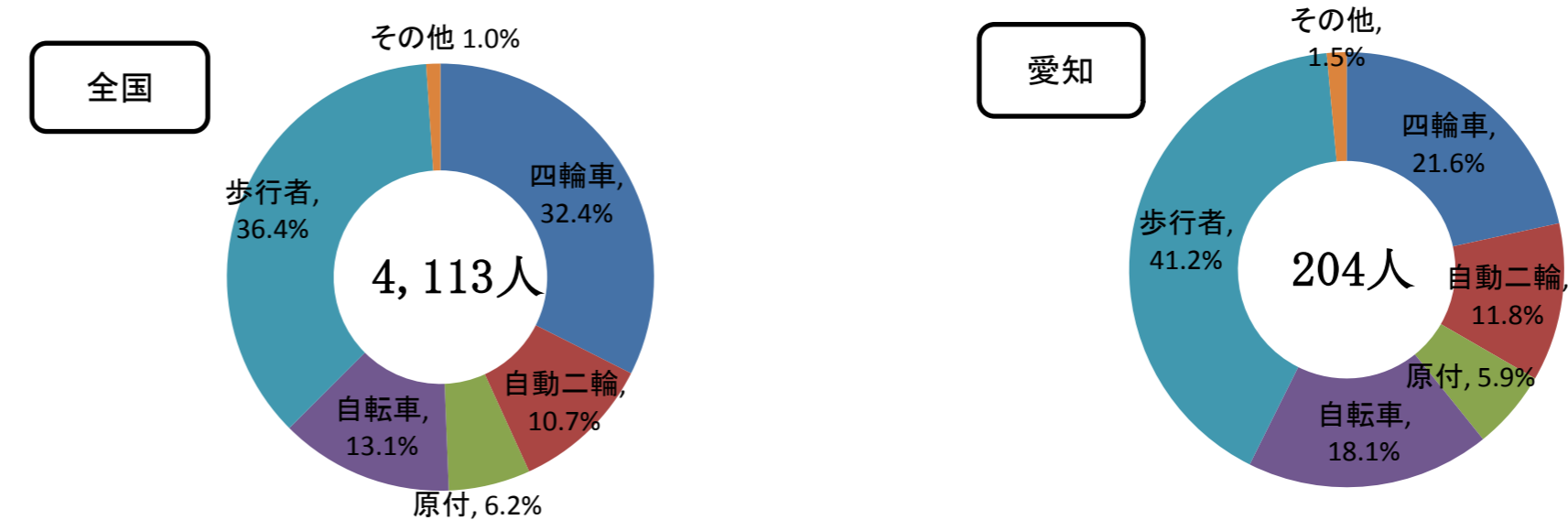
算出の基礎

- ・人口は、平成25年10月1日現在の確定人口(総務省)
- ・車両台数は、平成26年10月末現在(国土交通省資料)
- ・免許人口は、平成26年12月末現在
- ・道路延長は、平成24年4月1日現在(国土交通省資料)

○ 交通死亡事故の特徴

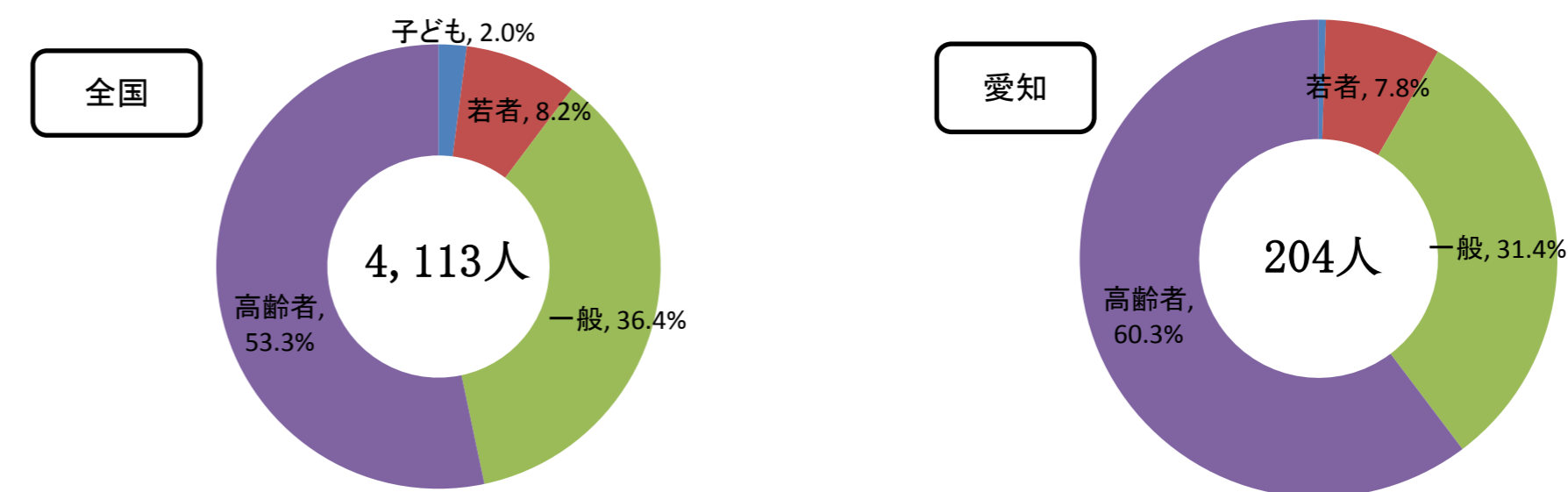
(1) 当事者別交通事故死者数

全国と比較し、愛知県は歩行者や自転車の占める割合が高い状況にある。



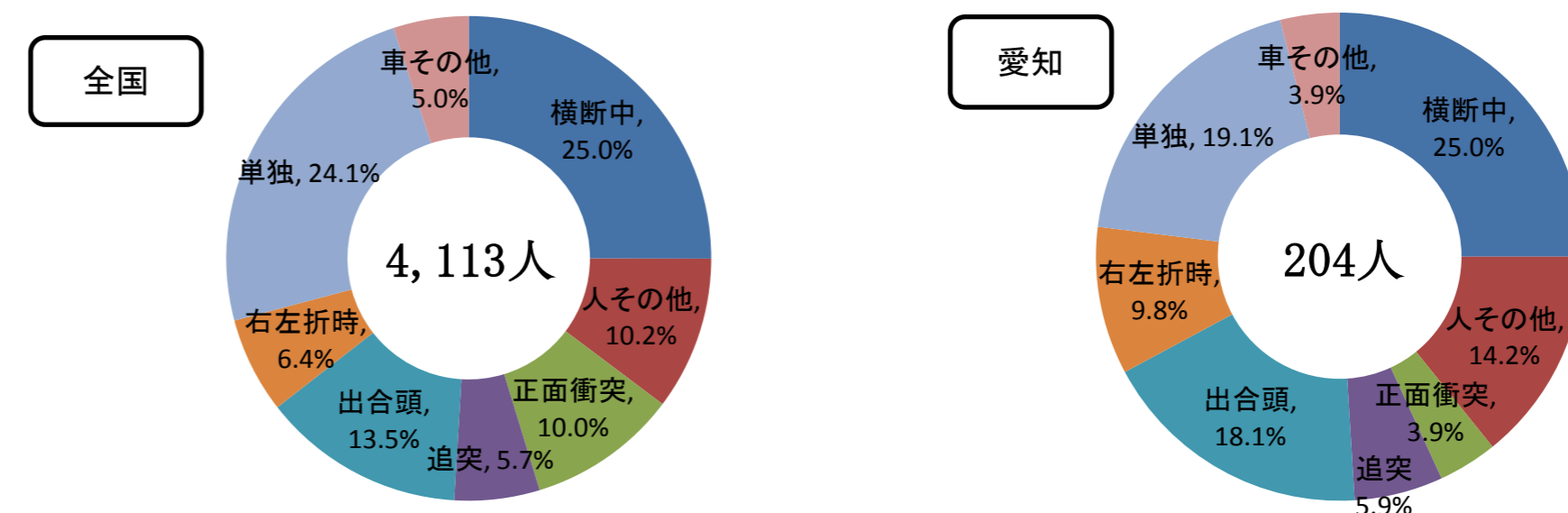
(2) 年齢別交通事故死者数

高齢者の占める割合が最も高く、全国と比較すると7ポイント高い。



(3) 事故類型交通事故死者数

事故類型別では、横断中で発生している割合が最も高い。



(4) 法令違反別交通死亡事故件数(第1当事者)

前方不注意やハンドル操作不適などの安全運転義務違反による死亡事故が多発している中、歩行者妨害等違反や一時停止違反による死亡事故が多発。

